

## 金沢神社御朱印の意味

金沢神社の御朱印に描かれている丸印の二体の龍は、隣接する金城靈澤に住む龍神様と、神社にお祀りされている龍神様を表わしています。角印は、兼六園の鎮守であることを表わしています。梅の御紋は、加賀前田家の御紋 剣梅鉢で、前田家のご先祖様とされる菅原道真公がお祀りされている事と、藩政期に前田

家の邸内社であった事を表わしています。文字の部分に添えられている金箔は、金城靈澤にまつわる「芋ほり藤五郎(とうごろう)」の物語 山で採った山芋を湧き水(金城靈澤)で洗ったところ、山芋に砂金が付いていて、その砂金を人々に分け与えたという「芋ほり長者伝説」に関連し、御朱印をお受けになられた方の、開運を祈念し付けさせていたいております。またその湧き水は、金を洗ったことから、かつて「金洗い沢」と呼ばれ、ここから金沢の地名が起ったと伝えられています。

